

モンゴル

マクロ経済状況

インフレ及び為替レートが比較的堅調であった中、実物経済はある程度の改善を示した。前年同期に比べ、2002年11月の消費者物価は2.5%、為替レートは2.1%上昇した。公式失業者数は、前年同期比23.1%減となった。

しかし、貿易赤字と財政赤字はさらに悪化した。11月までの貿易赤字は総額1億3,630万ドルに達し、前年同期比38.8%増加した。国家財政の赤字は、前年同期の2.1倍の462億トグルクとなった。これはGDPの約4%程度と見込まれる。

貿易の状況

モンゴルの輸出品の太宗が鉱業、畜産業から産出される原料及び半加工品で占められている構造に変化はなく、国家の輸出総額は依然としてこれらの財の国際市場価格変動など外的な要因の影響を強く受けている。年初からの11カ月の貿易総額は12億6,630万ドルであり、そのうち輸出が5億6,500万ドル、輸入が7億130万ドルであった。輸出額が前年同期比33.6%増加したものの、輸入額はそれを上回る34.6%増となった。この大幅な増加は、国際市場における非通貨用の金の取引によって説明される。こうした金取引の輸出額は2億1,770万ドル（輸出総額の38.5%）、輸入額は1億ドル（輸入総額の14.2%）であった。これによる黒字額1億1,770万ドルは、国家貿易収支の改善に大きく貢献した¹。

銅精鉱の国際市場価格の低下傾向が続いていることから、輸出量は0.4%増加したにもかかわらず、輸出額は8.5%（1,190万ドル）減少した。繊維製品の輸出も140万ドル減少した。

北東アジア諸国は、引き続きモンゴルの主要貿易相手国

であり、貿易総額の57.7%を占めた。そのうち、対中国貿易は4,420万ドルの黒字であったが、それ以外の国との貿易は赤字であった。このうちロシアとの貿易は1億6,690万ドルの赤字である。対口輸出は前年同期比17.8%減である一方、対口輸入は14.2%増であった。

鉱工業及び運輸の状況

2002年1～11月の鉱工業生産は前年同期比4.1%増加した。内訳をみると、製造業生産は28.2%増加したが、鉱業・採石業の生産額は7.9%の減少だった。原油産出は2.1倍となり、12万6,200バレルに達した。一方、金産出は11.0%減であった。

製造業の生産増に寄与したのは、食品・飲料部門（特に乳製品、製粉）、繊維、出版印刷、紙製品及び金属製品の各産業であった。2002年にはモンゴルで初めてタバコ製造も開始され、11月までに16万4,500箱の紙巻タバコが生産された。

同期間の電力生産は22億630万kWhで前年同期比5.3%増、熱生産は550ギガカロリーで同じく1.0%増であった。これに対し、電力輸入は1億4,270万kWhで21.8%減であり、電力自給率はやや高まった。

2002年1～11月の鉄道輸送貨物量は590万トンで、前年同期比22.9%増であった。このうち、国内貨物は27.5%、通過貨物が53.4%、輸出入貨物が19.1%であった。通過貨物が44.2%、輸入貨物が12.0%増加したことが、貨物量全体の増加に大きく寄与した。鉄道旅客輸送数は前年とほぼ同じレベルであったが、航空旅客輸送数は前年同期比23.6%増であった。

（ERINA調査研究部客員研究員

シャグダル・エンクバヤル）

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	02年1-3月	02年1-9月	02年1-11月
鉱工業生産額（前年同期比：%）	4.4	3.2	1.3	2.4	11.8	10.6	8.1	4.1
消費者物価上昇率（対前年末比：%）	20.5	6.0	10.0	8.1	11.2	0.6	3.1	0.3
国内鉄道貨物輸送（百万トンキロ）	2,554.2	2,815.3	3,491.7	4,282.5	5,287.9	1,594.9	4,836.2	5,876.2
失業者（千人）	63.7	49.8	39.8	38.6	40.3	40.4	33.6	31.0
対ドル為替レート（トグルク、期末）	813.2	902.0	1,072.4	1,097.0	1,102.0	1,104.0	1,117.0	1,123.0
貿易収支（百万USドル）	16.8	158.1	154.5	148.4	169.6	44.3	217.5	136.3
輸出（百万USドル）	451.5	345.2	358.3	466.1	385.2	70.6	270.6	565.0
輸入（百万USドル）	468.3	503.3	512.8	614.5	554.8	114.9	488.1	701.3
国家財政収支（十億トグルク）	65.1	102.1	98.2	69.7	45.5	13.2	197.4	46.2
成畜死亡数（100万頭）	0.6	0.7	0.8	3.5	4.7	1.8	2.7	-

（注）失業者数は期末値。消費者物価上昇率は各年12月末、2002年は期末値。貨物輸送、財政収支は年初からの累積値。

貿易収支額は、02年1-11月データのみ非通貨用金取引額を含む。

（出所）モンゴル国家統計局「モンゴル統計年鑑2001」、「モンゴル統計月報」

¹ なお、非通貨用金の取引は、モンゴル統計月報2002年11月号から貿易統計に算入されたため、過去の貿易額に関するデータとは整合しないことに注意が必要である。2001年1-11月（前年同期）分のみ遡及改訂されたデータが公表されているが、それ以前の分については今後公表されるものと思われる。